

# 春日井市における 地域包括ケア団地モデル事業の取組



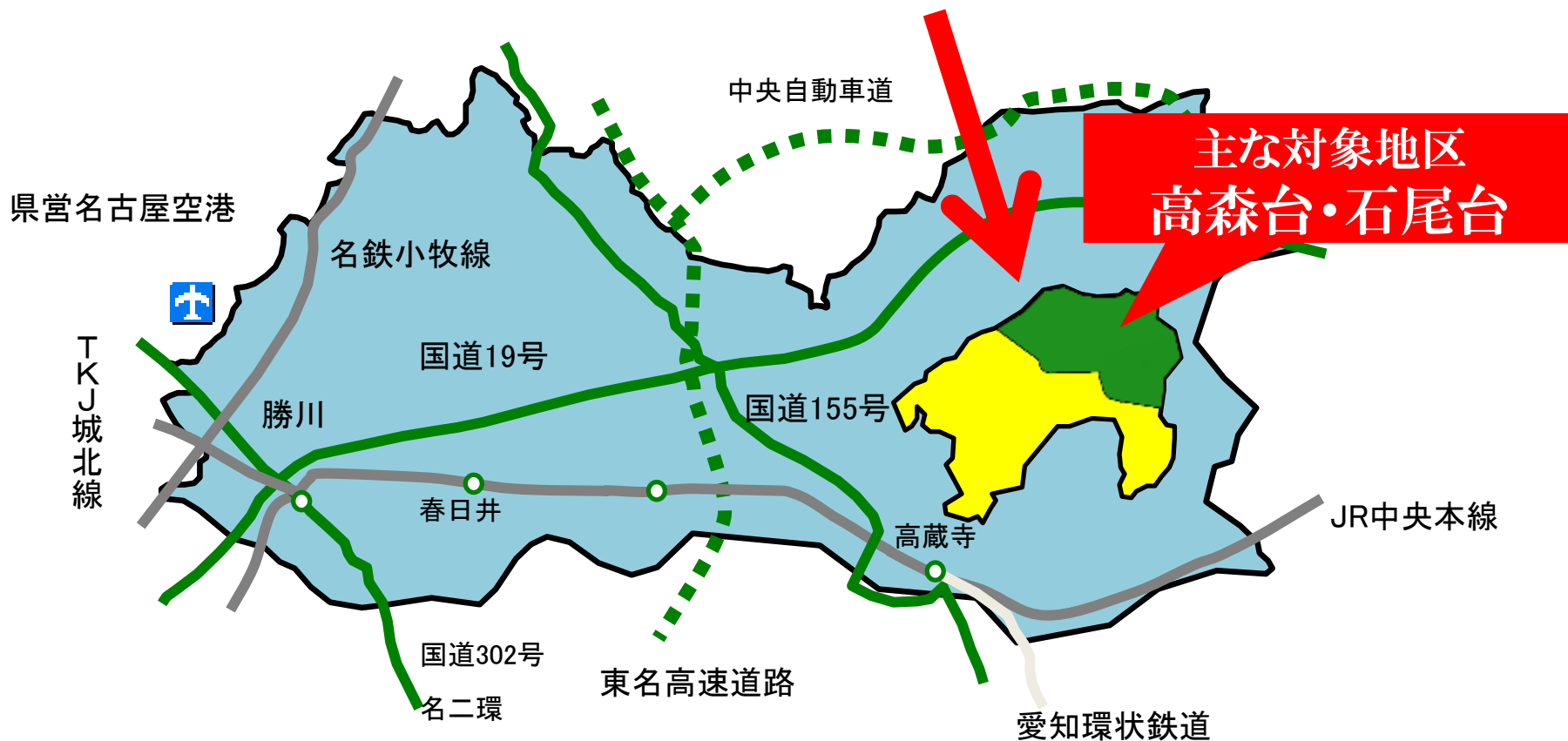
# 1. 対象エリアの状況



# (1) モデル事業の実施地区と状況

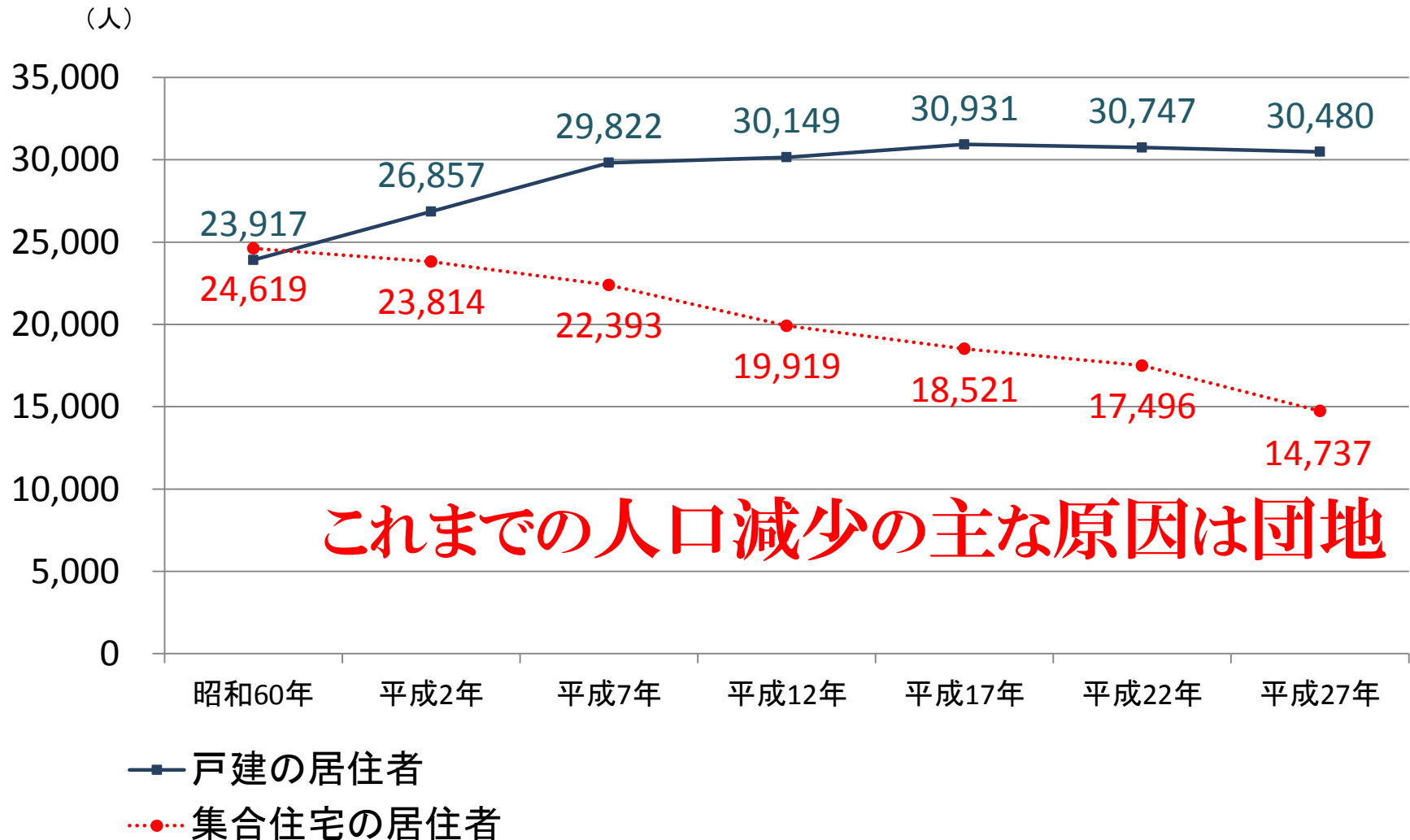


## 高蔵寺ニュータウン



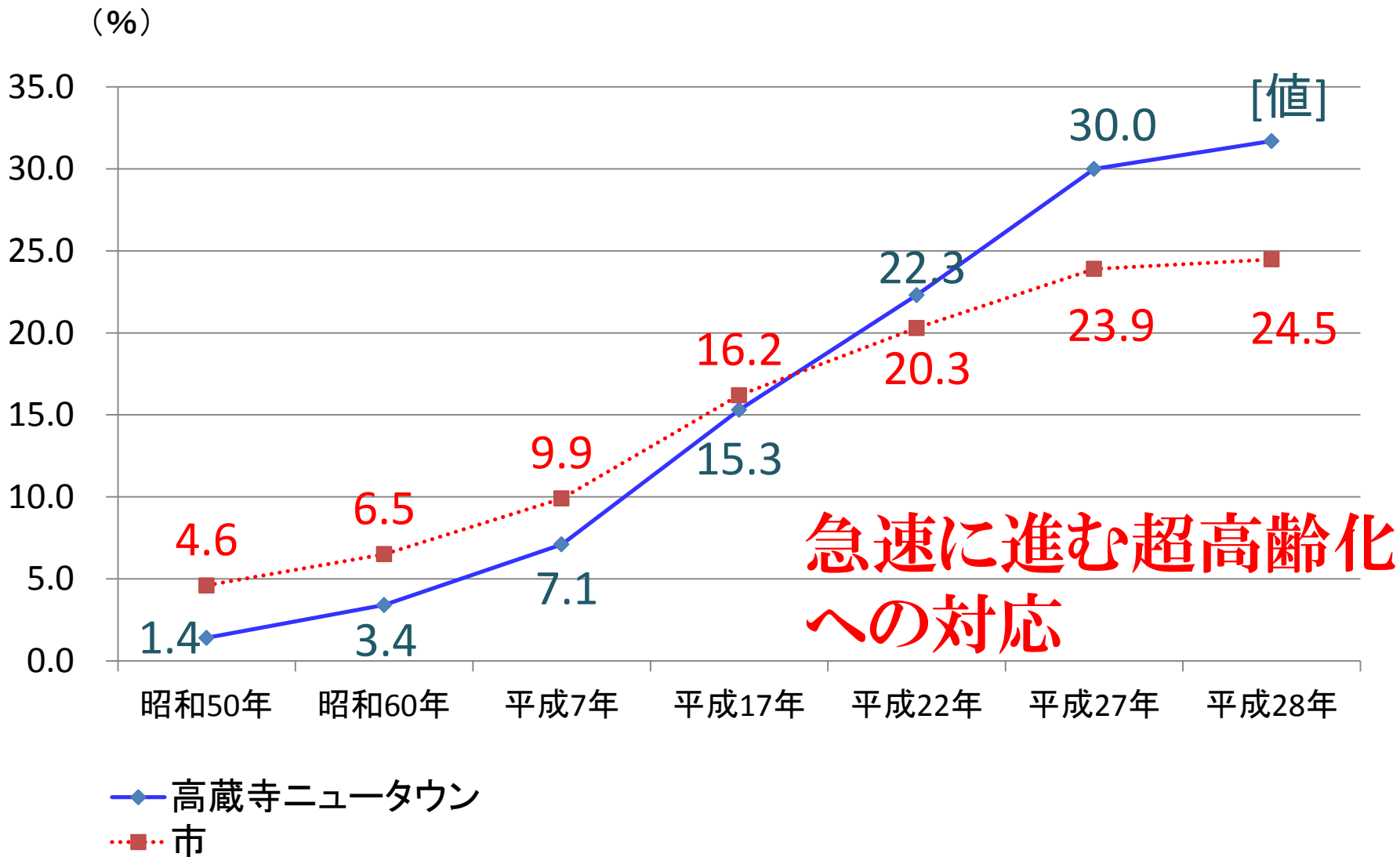
# 1

## 高蔵寺ニュータウンの 戸建・集合住宅別の人口の推移



# 2

## 高蔵寺ニュータウンと春日井市の 高齢化率の推移



## 3

## 石尾台・高森台地区の人口

(総人口・人口：人)

地区		石尾台	高森台	高蔵寺NT	春日井市	愛知県
総人口		4,722	9,026	43,831	311,236	7,483,128
65歳以上	人口	2,088	2,760	13,891	76,204	1,760,763
	高齢化率	<b>44.2%</b>	30.6%	31.7%	24.5%	23.5%
65～74歳	人口	1,370	1,628	8,481	43,247	962,843
	比率	29.0%	18.0%	19.3%	13.9%	12.9%
75歳以上	人口	718	1,132	5,410	32,957	797,920
	比率	15.2%	12.5%	12.3%	10.6%	10.7%

※平成28年4月1日現在



## (2) 地域包括ケア団地モデル構想



### ① 目指すべき 団地モデルの姿

- 県が地域包括ケア団地モデル検討会議を開催（平成27年度）
- 目指すべき団地モデルの姿と取組・工程表

### ② 地域包括ケアの 拠点施設

- サービス付高齢者住宅の誘致（県有地の活用）
- URの団地再生事業（医療・介護、子育て支援等のサービス拠点）

### ③ 地域包括ケア 団地モデル事業

- 高齢者が安心して暮らせる住まい等の確保
- 多世代交流の推進
  - ・ 居場所の確保
  - ・ 多世代との交流機会
  - ・ 健康づくり・介護予防
  - ・ 生きがい就労、ボランティア活動の創出

# (3) 高蔵寺リ・ニュータウン計画



## ① 高蔵寺ニュータウンの未来を創造するプラン

- まちづくり推進部にニュータウン創生課を設置
- 先導的な主要プロジェクトと課題に応じた主要施策

## ② スマートウェルネスを目指した団地再生

- UR、県有地等に医療・福祉施設の誘導
- 高森山周辺でウオーキング等のスポーツ・健康づくり機能

## ③ 地域包括ケアの推進

- 地域包括支援センターの設置(旧藤山台小学校施設の活用)
- 住民相互の見守りや支え合い等の互助の推進
- 既存団地や空き家等を活用した介護施設等



# 2. 取組状況

春日井広報大使・北京オリンピック シンクロナイズド・スイミング日本代表

松村亜矢子さんが紹介する

## 「高蔵寺」「高蔵寺ニュータウン」の魅力



高蔵寺ニュータウンで生まれ育ったので、シンクロナイズド・スイミングの選手として各地を転戦していた頃は、ニュータウンの緑を見ると、「ああ、帰ってきたな」とホッとしていました。そして、次も頑張ろうと気持ちをリセットできる。ニュータウンは、私にとって「癒やしのまち」です。

大型ショッピングセンターや東部市民センター、東部子育てセンターなど、ニュータウンには日々の生活に欠かせない施設も充実しています。高蔵寺駅からは、JR中央本線で名古屋・多治見方面へのアクセスが快適なのはもちろんですが、愛知環状鉄道を使えば、瀬戸～豊田・岡崎方面に出かけるのも便利。

まさに「まちと自然がちょうどいい」暮らしやすさが魅力ですね。

高蔵寺ニュータウン未来プラン策定検討委員会の委員として、10年先、更にその先を見据えて、高蔵寺駅周辺やニュータウンのことを考えてきました。駅周辺やニュータウンが、これからも活気にあふれたまちであるために、よりよい変化が必要です。スポーツに携わってきた者として、また、現在、中部大学で健康に関わる指導をする立場から、このまちに暮らす皆さんの健康寿命を伸ばすための健康施設の整備も提案しました。

生まれ変わる「高蔵寺」、「高蔵寺ニュータウン」。その変化を住民の皆さんと一緒に楽しみたいと思っています。

# (1) モデル事業の推進体制

## 地域包括ケア団地モデル事業推進連絡会議

### 居場所づくり部会

- 区・町内会・自治会
- 地区社会福祉協議会
- UR
- ニュータウンセンター開発
- 介護老人福祉施設の長

### 多世代交流部会

- 老人クラブ
- 民生委員・主任児童委員
- 中学校・高校の校長
- NPO法人
- 市社会福祉協議会
- 障がい者施設の長

### 介護予防・日常生活支援部会

- 医師会
- 歯科医師会
- 薬剤師会
- 中部大学
- NPO法人



- 事業推進員（地域包括支援センター）
- 第1層生活支援コーディネーター

※第2層生活支援  
コーディネーター

## (2) 地域包括ケアの進め方等の検討

### 全体会議



### グループワーク（全体会議）



### 居場所づくり部会

誰もが気軽に集まれる身近な居場所が必要

#### 【提案】

- 空き家を利用した居場所
- UR団地内集会所の無償利用
- 公園の居場所化

### 多世代交流部会

「地域力」を高める仕組みプログラムが必要

#### 【提案】

- 施設と地域の合同防災訓練
- 高齢者の特技を活かした小中学生との交流会
- 地域における支える支えられる仕組みづくり

### 介護予防・日常生活支援部会

外出することが介護予防の第一歩

#### 【提案】

- 公園に健康器具
- 定期的な相談窓口の開設
- 外出していない人へアプローチ

## (3) 平成28年度の実施事業



### 介護予防に関する講演会

- 広報大使 北京五輪シンクロ代表 松村亜矢子氏の講演会を実施

「健康寿命をのばそう～  
脳活と運動で認知症予防を～」



### 認知症高齢者の搜索模擬訓練

- 東高森台地区で市と地域包括支援センターが連携し、認知症高齢者の搜索模擬訓練を実施



### 小中学校等での認知症サポーター養成講座

- 小中学校での認知症サポーター養成講座を実施
- 寸劇などで認知症への理解を深めた。



# 3. 今後に向けての対応、取組

**ギョツとCITY高蔵寺**  
中部大学生発「高蔵寺の魅力発信レポート」WEB版

データで見る高蔵寺 >

子育ては春日井・高蔵寺 >

大人世代にも優しい高蔵寺 >

高蔵寺ぶらり散策  
まだある高蔵寺の魅力



# モデル事業の全体の取組

事業区分	事業内容
1. 居場所づくりと地域活動の活性化	<p>ア 空き家や既存の拠点施設等を活用し、居場所づくりの環境を整備し、住民主体サービスや地域活動の活性化を図る。</p> <p>イ URと連携したサロン活動など居場所の確保</p>
2. 多世代や地域における支え合い等の普及啓発	<p>ア 多世代の支え合い等の住民啓発</p> <p>イ 地域住民参加型防災訓練により、災害時の協力体制の構築を図る。</p> <p>ウ 地域での支え合いと元気な高齢者の社会参加の推進</p> <p>エ 小中学生や高校生に対し、職業体験や福祉を学習する機会などを設ける。</p>
3. 高齢者と子どもの「縁活」応援事業	<p>高齢者の特技を活かし、子どもの家や高齢者サロン等で高齢者と子どもの交流を行う。</p>
4. 健康づくり、介護予防の実施	<p>健康づくり教室を開催し、気軽に認知症予防に取り組める環境を整備</p> <p>身近な公園にコグニサイズができる環境を整備</p>
5. 相談窓口の設置	<p>高森台・石尾台地区の居場所等で地域包括支援センターによる定期的な相談窓口を実施する。</p>
6. 外出支援への取組みの実施	<p>ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の外出を支援するため意向調査を実施し、支援方法などを検討する。</p>
7. ハートフルパーキング登録制度	<p>訪問診療、訪問介護等の医療・福祉関係者や市職員が訪宅する際の駐車場を確保する。</p>
8. 地域の見守り活動の推進	<p>認知症高齢者の行方不明者の捜索などの訓練をICT(スマートフォンのアプリ機能)を活用して実施し、地域の見守り活動を推進する。</p>

# 高齢者と子どもの「縁活」応援事業

## 事業内容

高齢者の特技を活かして、子どもの家や高齢者サロン等で高齢者と子どもの交流を行う

- 老人クラブなどが子どもたちに子どもの家などで講師等として交流を実施
- 常設型の高齢者サロン(老人憩いの家)に子どもたちが放課後や休日に遊びに来る環境づくり



元気な  
高齢者



子どもの  
放課後・休日



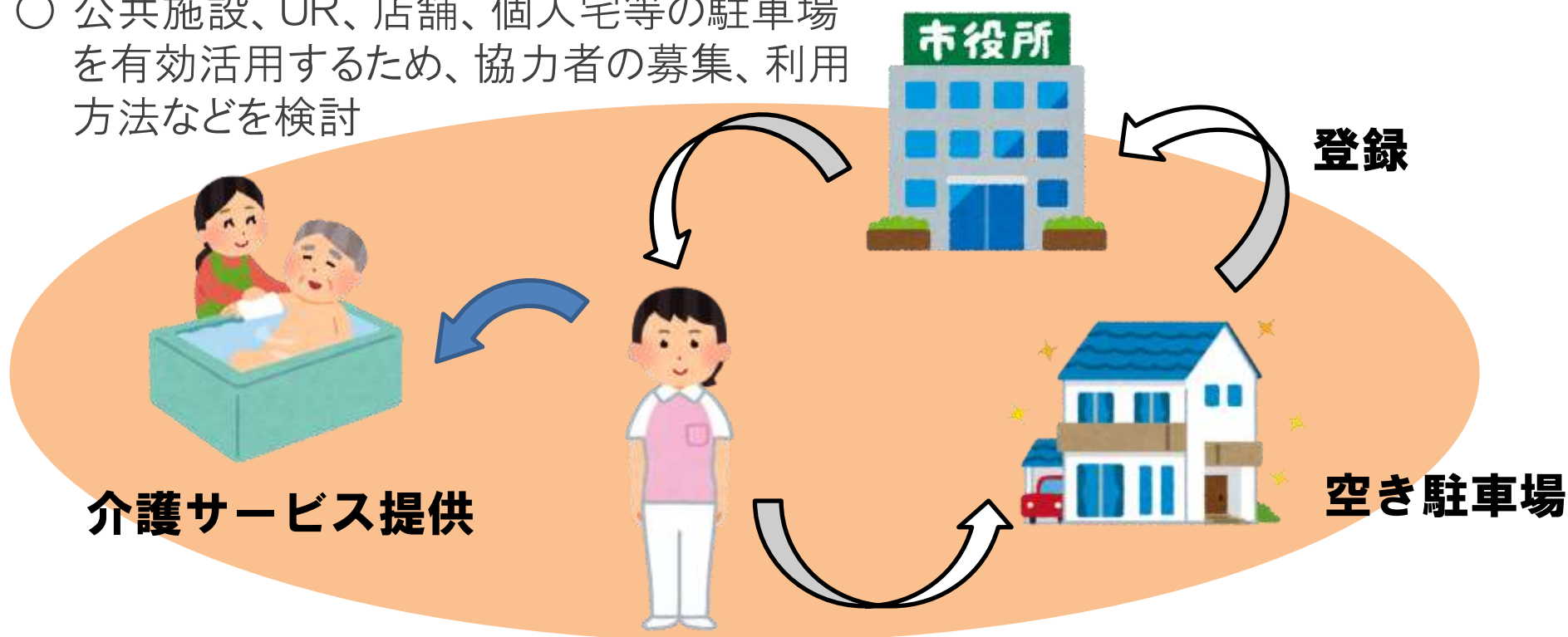
あたたか  
いまち

# 「ハートフルパーキング」登録制度

## 事業内容

在宅医療のために訪問診療、訪問介護等の医療・福祉関係者や市職員が訪宅する際の駐車スペースを地域の助け合いにより確保する。

- 公共施設、UR、店舗、個人宅等の駐車場を有効活用するため、協力者の募集、利用方法などを検討



# 認知症高齢者の徘徊時の搜索協力システム 「オレンジセーフティネット」のモデル試行

## 事業内容

地域の見守り活動を推進するため、認知症高齢者の徘徊時の搜索訓練をICT(スマートフォンのアプリ機能)を活用して、試行的に実施する。

- 平成29年度厚生労働省のモデル事業(認知症高齢者見守り推進事業)となる「オレンジセーフティネット」のプレトライアル(モデル試行)を実施する。
- 地域包括ケア団地モデル事業の一つとして、中部大学の学生や地域住民など(連絡推進会議のメンバー)が参加し、認知症高齢者の徘徊搜索模擬訓練を実施し、地域の見守り活動を推進する。





地域包括ケア  
地域福祉を推進する

3 つの心



情熱

優しさ

真心



ご清聴ありがとうございました。

## ＜問い合わせ先＞

486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地  
春日井市 健康福祉部 地域福祉課  
福祉企画担当 森・田中

TEL : 0568-85-6184

FAX : 0568-84-5764

E-mail : [chiikifk@city.kasugai.lg.jp](mailto:chiikifk@city.kasugai.lg.jp)



©Kasugai City 2008